

人生の選択を支えるための地域モデルをつくろう

— ALP・ACP普及への取り組み —



TQM活動 ACPチーム

現行での問題点

院内ではACP活動を進めているが・・・

- ・ 退院時にACPシートを渡しているが継続できているかわからない
 - ・ 患者から「急に言われても困る」「死を意味するのか」と戸惑いの声が多い
 - ・ 必要な人にのみACPを実施しているが、すべての人にできている訳ではない
- ・ 救急の場でのACPは差し迫る死の印象を与えやすい
 - ・ ACPは聞かれるからやっている

自分の事です

 健康なときから人生を考えるALPの普及が必要

患者の実際

想像がついて
なさそう・・・

病院でどうにか
してくれるわよ

すぐ元の
生活に戻るよ

説明を理解
していない
のでは？

この先どうなる
かなんて今は
分からないし



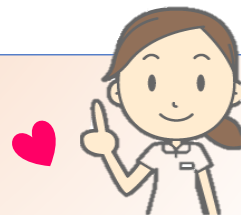
おまかせしない自分の生き方を考えてもらう



そのための**きっかけづくり**を行う

目標 取り組みたいこと

- 🌿 病棟・ER・外来・PRセンターが連携して
ALP・ACPの更なる周知を推進していく
- 🌿 患者・家族が主体となり、院内・院外問わず
「どのような人生の選択していくか」意思決定が
できるよいうにサポートを強化する
- 🌿 地域との連携による ALP・ACP の継続体制
を構築



具体的な取り組み

➡ 進めている事

【院内での周知活動】

- ✿ パンフレットの設置 ➡ わたしの思い手帳を設置予定
- ✿ 外来待合室のTVで啓発アニメを放映 ➡ 内容検討中
- ✿ 個人携帯用のACPカードを作成 ➡ 作成中 監修依頼予定
- ✿ ACPカードの普及
- ✿ 院内ACP事例検討会の出席率向上

【地域】

- ✿ ACPカードの普及
- ✿ 入院患者のACPを連携
- ✿ イベント開催を通してACPを普及 ➡ 前年度ACPチームと共同で
すみだまつり参加し
「わたしの思い手帳」を説明・配布

効果と今後の展望

❁ 個人のACPカードを普及し、自らの人生を病院・地域との連携により構築していく環境がある



- ❁ 主体的に人生を考える機会を創出できる
- ❁ 思いを尊重した支援ができる

❁ 「健康なときから 自分の人生を考える」地域へ